

事故防止を目的とした安全講習会を開催致しました

日 時: 2016年12月10日(土) 10:30~11:30
 講 師: 東京日野自動車株式会社 粕谷様、佐藤様
 場 所: 本社2F会議室(座学)及び整備棟(実技)
 〒355-0071 埼玉県東松山市新郷88-73
 0493-25-1111
 内 容: チェーンの使い方、ハイビームの有効性
 出席者: 乗務員、構内員の班長職14名



東京日野自動車株式会社 粕谷様 佐藤様



おすすめします! 「見るため」というより、「見せるため」が目的です。

黄昏どきは早め点灯

やらぬ手はない!
こんなに目立つ「早め点灯」

ライトをつけた車は、つけた車に比べて明らかに目立ちます。

テールランプも点灯するため、後続車からもはっきり見えます。

遠く離れていればいるほど、点灯した車が目立ちます。

ウィンカーもブレーキランプも早めに点灯

周囲の車や歩行者、自転車などに、自分の車の次の動きを早く伝えることができます。

50km/h以上で走行中の場合は、目立つる

下向きライト(ロービーム)

上向きライト(ハイビーム)

熊谷交通安全協会・熊谷警察署
 熊谷市交通安全対策協議会

2016年12月10日(土)10:30より講師に東京日野自動車株式会社 粕谷様、佐藤様を招聘し、事故防止を目的とした安全講習会を開催いたしました。ご指導いただきありがとうございました。

あたりまえです!
暗い夜道は上向きライト

その差は歴然!

下向きライトでは見えない歩行者や自転車が、上向きライトになるとくっきりと見えます。

ライトの照射方法に関して道路交差法では「対向車や近くに先行車がいる場合は下向きに(照射)しなければならぬ」と定めていますが、それ以外の場合は、上向きライト(ハイビーム)が原則です。

対向車や先行車がいけないときは積極的に上向きライトで!

見える距離が伸び範囲が広がる!!

下向きライトの照射距離は30~40mほどですが、上向きにすれば100mほど先まで見えます。その上、ライトの光は左右方向も照らしますから、上向きライトにすることで視界を始めた自転車などにも早く気づくことができます。

夜の交差点等では「バッシング」を!?

見通しのきかない夜の交差点やカーブでは、交差車両同士、対向車両同士がお互いに相手の接近を確認しにくいものです。そんなとき有効なのが、ヘッドライトを小刻みに上向き・下向きにする「バッシング」操作。相手車両だけでなく場合によっては歩行者や自転車にも自車をアピールでき、早めに気づいてもらえます。

下向きライト(ロービーム)

上向きライト(ハイビーム)